



認 定 書

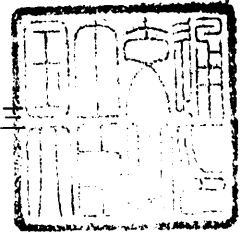
国住指第 4121 号

平成 20 年 4 月 9 日

積水化学工業株式会社

代表取締役社長 大久保 尚武 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第129条の2の5第1項第七号ハ〔防火区画貫通部1時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-0412

2. 認定をした構造方法等の名称

ケーブル・電線管／黒鉛含有エポキシ樹脂・ウレタン系樹脂発泡体入不織布付ガラスクロス製袋充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管／黒鉛含有エポキシ樹脂・ウレタン系樹脂発泡体入不織布付ガラスクロス製袋充填／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形 状	円形：φ210mm以下
	面 積	0.0346m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対するケーブル・電線管の 断面積総合計の割合)		24.2%以下
貫通する床の構造等		A L Cパネル及び鉄筋コンクリート 厚さ：100mm以上

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2及びケーブル・電線管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目		申請仕様			
耐火バック (図2参照)	袋	材料	黒鉛含有エポキシ樹脂・ウレタン系樹脂発泡体入不織布付 ガラスクロス製袋		
		密度 (充てん物)	充てん物を開口部内に充てん又は圧縮充てん時のかさ密度 161.4kg/m ³ 以上		
	袋	材料		不織布付ガラスクロス製袋(二層)	
		不織布	材料	①～④の一 ①ポリエチレン系樹脂 ②ポリプロピレン系樹脂 ③ポリエチレンテレフタレート系樹脂 ④塩化ビニル系樹脂	
			質量	70g/m ² 以下	
		ガラスクロス	質量	20g/m ² 以上	
		形状		袋状	
	充てん物	熱膨張材	材料		不織布付黒鉛含有エポキシ樹脂(粉碎材)
			基材	材料	黒鉛含有エポキシ樹脂
				密度	充てん物を開口部内に充てん又は圧縮充てん時のかさ密度 133.9 kg/m ³ 以上 (黒鉛含有エポキシ樹脂の密度は1.4g/cm ³)
				組成 (質量%)	
			物性値	膨張倍率20倍以上	
		不織布	材料	ポリエチレンテレフタレート系樹脂	
			密度	充てん物を開口部内に充てん又は圧縮充てん時のかさ密度 0～20.6kg/m ³	
			発泡体	材料	ウレタン系樹脂
密度		充てん物を開口部内に充てん又は圧縮充てん時のかさ密度 27.5～61.0kg/m ³			
		物性値	酸素指数 20以上		
充てん量		隙間が無いように密に充てん			

表3 申請仕様のケーブル・電線管の構成材料

項目	申請仕様				
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	150mm ² 以下(1本あたり)			
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材料			
	絶縁体	種類	ポリエチレン系	厚さ	2.0mm以下
			塩化ビニル系	厚さ	2.0mm以下
	介在(円形に調整する充てん材)	紙又は、ジュート又は、ポリプロピレン			
シース	種類	ポリエチレン系	厚さ	1.6mm以下	
		塩化ビニル系	厚さ	1.6mm以下	
電線管	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)			
	材質	ポリエチレン系樹脂			
	種類	CD又はPF			
	外径	48mm以下			

4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様	
受け金具 (図2参照)	材料	鋼製
	寸法	φ1.2mm以上

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm

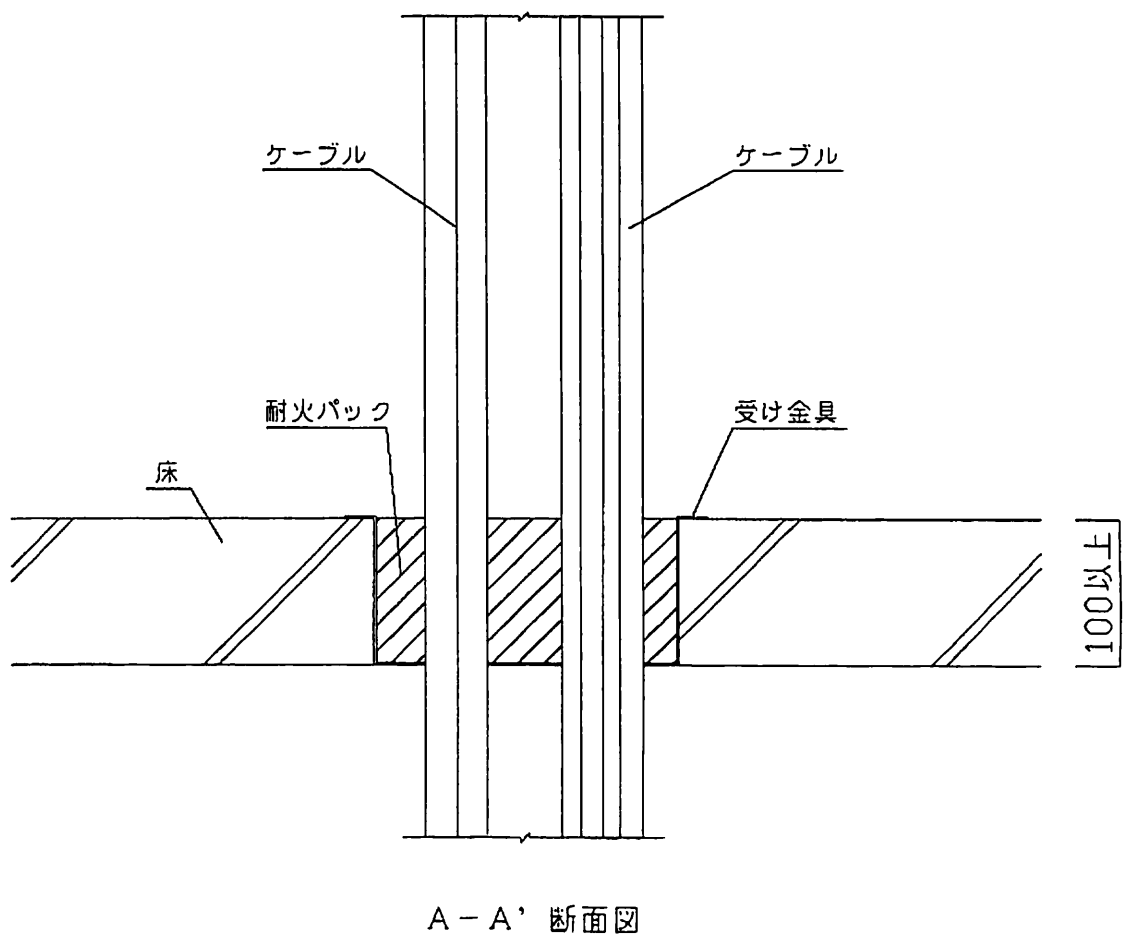
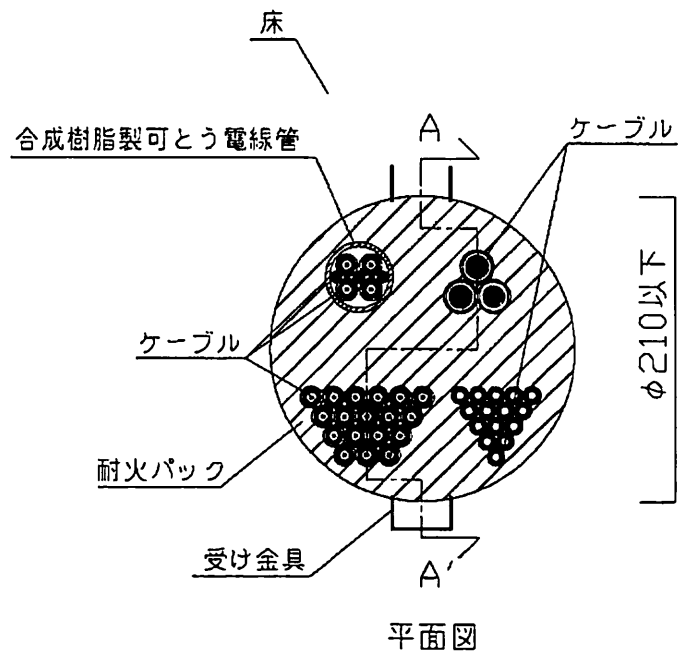
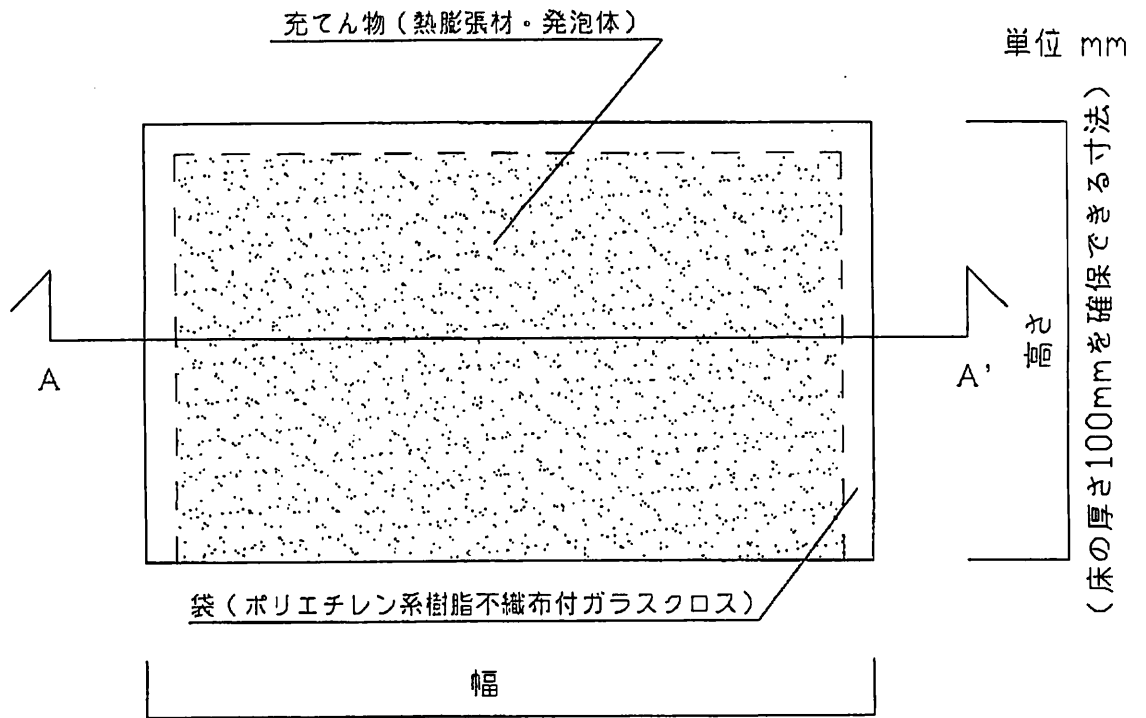
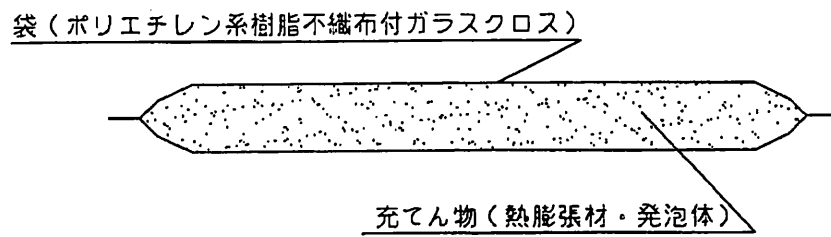


図1 構造説明図

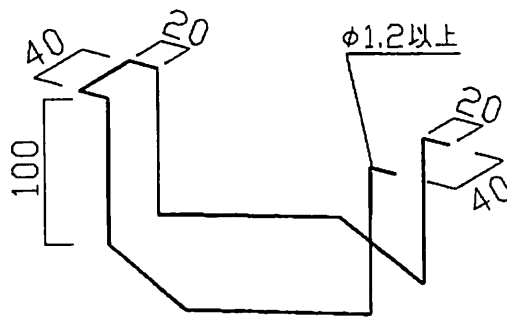


平面図



A-A' 断面図

耐火パックの詳細図（包装方法の一例）



受け金具の詳細図

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口の開口面積、ケーブル及び電線管寸法（ケーブル及び合成樹脂性可とう電線管の断面積及び種類等）、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 開口部の清掃

開口部の周囲を清掃する。

(3) 受け金具の取付け

受け金具を開口に設置する。

(4) 耐火パッキの設置

耐火パッキをケーブルの隙間等に馴染ませながら押し込む。

(5) 最終チェック

小さな隙間等が無いことを確認する。

単位 mm

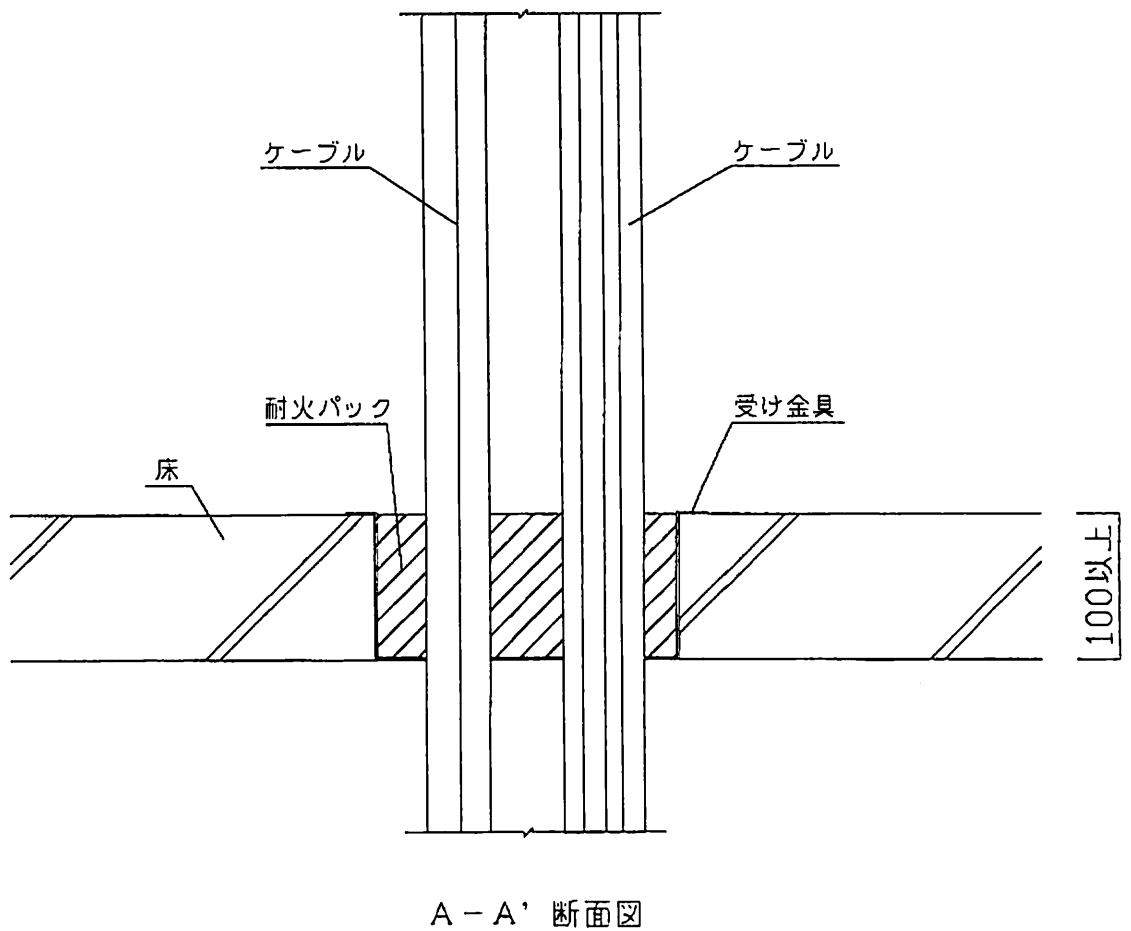
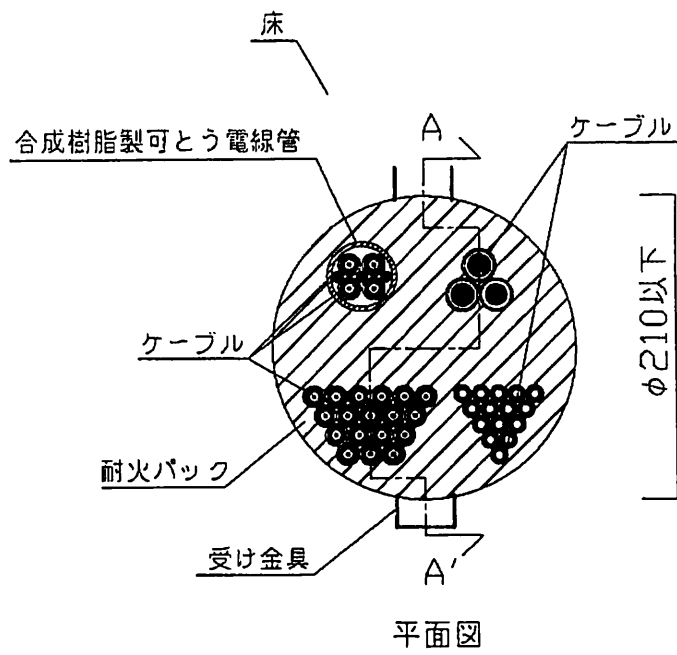


図3 施工図